



今月の読み物

- p 2 新年の抱負
- p 3～6 ラオス訪問 p 7 カジノの中止
- P 8 分断に抗う壁画・マリヤの賛歌
- p 10 茨木9条の碑
- p 12 英語を読む会・川柳

〒540-0004大阪市中央区玉造1-6-11黒石ビル3F



ラオス クワンシーの滝

明けましておめでとうございます

2025年1月1日

大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

非核・非同盟・北東アジアの共同体をめざす運動を前進させましょう

- |       |  |
|-------|--|
| 代表委員  | 安達克郎<br>植田保二<br>小林保夫<br>長谷川道弘                                      |
| 理事長   | 吉瀬孝子   |
| 副理事長  | 姫野 淨<br>上村得世<br>浜辺友三郎  |
| 事務局長  | 米澤清恵<br>粕谷武志   |
| 会計    | 西野敏江   |
| 事務局次長 | 小松靖昌   |
| 常任理事  | 堀内保孝<br>江野久美子<br>尾川理江<br>下川今朝美<br>高木裕司<br>畑山卓<br>安井倫子              |
| 理事    | 吉本 敦<br>井上賢二<br>小林 優<br>森川泰明<br>吉田信夫                               |
| 監事    | (日本共産党大阪府委員会)<br>清水忠史<br>(民主青年同盟大阪府委員会)<br>園部真拓<br>小笠原由美子<br>松本千賀子 |



地球温暖化、核兵器禁止、軍拡など対立軸が鮮明化する世界

大阪AALA理事長 姫野 浄

2025年の新年おめでとうございます。

を示しました。

11月にはハノイで開かれたASEAN(東南アジア諸国連合)シンポで、世界の軍費は最高の2兆4400億ドル(約380兆円)にも達し軍拡競争が世界の分断を深めていると警告し、食料や保健などみんなのために軍事費の10%削減をよびかけました。

それを対し先進国(特に米国と日本)はこれに全く応えようとせずに終わりに放置できない事態となっております。

12月の国連総会では核兵器禁止条約の締約国が、宣言と行動計画を採択しました。

これに対して米国など核兵器保有国と日本は反対して核保有による威嚇の継続

11月にはハノイで開かれたASEAN(東南アジア諸国連合)シンポで、世界の軍費は最高の2兆4400億ドル(約380兆円)にも達し軍拡競争が世界の分断を深めていると警告し、食料や保健などみんなのために軍事費の10%削減をよびかけました。

私たちAALAは、創立以来非核・非同盟の運動目標をかけた、世界の人々と連帯してたたかってきました。

今まさに軍事同盟強化と大軍拡そして地球温暖化など危機的な情勢が生まれています。

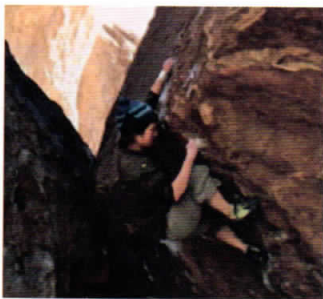
いっそう国内外に打って出て連帯の力を大きくしていくときを向かえています。新年も団結を強くしてしっかりがんばりましょう。

新年の抱負 1

今年10月に入会された黒住陽子さん

初めまして。

入会したばかりです。海外の文化への興味から始まって、「世界を知り世界の運動と連帯する事が自国を知りその発展に寄与することになるのでは、何かしなければ」との思いから入会しました。今年色々参加出来たらなと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



新年の抱負 2

常任理事 畑山卓さん



今、僕はミクロネシアのチューク州(旧称・トラック諸島)にあるザビエル高校(Xavier H.S.)にいる(歴史教科書に載っているあのザビエルだ)。

JICA 協力隊の日本語教育隊員としてここに派遣された。

12月10日に赴任したばかりである。任期は2年。

赴任校のXavier高校(こっちはセイフィアかセイヴィアと発音)は、名前の通りイエズス会が設立したカトリックの高校。町から離れた丘の上にあるきれいな学校だ(町までは悪路を通過して4WDで40分もかかる陸の孤島)。

る陸の孤島)。

学校からきれいな南太平洋の海を見ることができ、グラウンドには芝生が敷かれている。

校舎は1938年に作られた旧日本海軍の通信施設の建物を利用して作る。分厚い鉄の扉と壁で作られていて、米軍の空襲で破壊された痕も残っている。

男女共学の4年制の学校で、生徒数は158名と超小規模校。

ミクロネシア連邦だけでなくパラオやマーシャルからも来ている。

男子生徒は全員、敷地内にある寮で生活し、女子生徒は自宅やホームステイ先から通学している。かなりの進学校と聞いている。

教師は校長含めて15人ぐらいか。ミクロネシア、フィリピン、アメリカ、インドネシア、イギリス、フィジー、韓国、そして日本からとかなり多国籍の教師集団だ。

12月16日から前期末考査。私の授業は1月6日から始まる。



### 新年の抱負 3

民

青同盟大阪府委員会

委員長 園部真拓さん

新年明けましておめでと



うございます。

2025年は日本AAL A創立70年ですね。人々の命と暮らしを守り、話し合いによって問題を解決しようという、歴史の本流ともいうべき勢力の一翼として活動してこられたAALAのみなさんと、今年も力を合わせて頑張っていきたいと思っています。

さて、いま激動の情勢のもと、「民青に入っ一緒に学ぼう！政治を変えよう！願いを実現しよう！」という訴えが青年に響いています。

民青同盟は、昨年の47大会期に3000名を超える仲間を迎え、年間拡大目

標を大きく超えることができました。

大阪でも2008年以降、最も多くの仲間を迎えることができた一年となり、新しく加わった仲間たちと学び、交流し、生きいきと運動に踏み出しています。

青年と要求を語り合い、力を合わせようと呼びかけ奮闘してきた民青の活動も間違いなく、歴史の本流を後押しする側からの取り組みであったと感じています。

今年の総選挙では、「政治について興味がある。学びたい」と話す高校生や、「今の自民党には何も期待していない」「自分に何が出来るのか知りたかった」と話す青年との出会いが各地で生まれました。

「核兵器に反対する運動に関心がある」と話す学生からは直接連絡があり、公開班会に参加してもらった中で加盟する経験や、宣伝で対話になった高校生2人が

「裏金問題とか絶対おかし」「学費が高すぎる」などと話し加盟する経験も生まれました。

多くの青年が模索の出口を求めているいま、日本の

政治の大きさにある「アメリカ言いなり」「財界中心」の二つの歪みを抜け出す展望をさらに語り広げていくことができれば情勢をさらに前へ動かすことも可能だと確信しています。

2025年には参議院選挙もあります。

私たち民青同盟も青年との対話を草の根で広げながら、要求を語り合い、力を合わせて巨大なうねりをつくっていく決意です。そのことを述べて新年の挨拶とします。ともに頑張りましょう。

2025年は原爆投下から80年となる節目の年です。

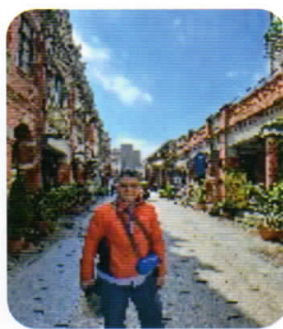
歴史の本流と逆流がぶつかりあう今の情勢のもと、戦争被爆国であり、平和憲法を持つ日本には、世界に對して果たすべき役割があると感じています。

日本らしい外交をおこなう、歴史の本流を力強く後押しする政治を実現させるため、民青同盟も頑張りぬく1年にしたいと思えます。

### 新年の抱負 4

大阪AALA 常任理事

堀内 保孝



一昨年12月「北東アジア、平和と友好の旅」ということで、台湾を北から南まで縦断し「牡丹社事件」「霧社事件」等々の現場を訪れました。

今年5月には、日本AALA Aで、金門島、人權博物館、

等を訪れ台湾の現在を知るということで学習するとともに、中央研究員の方々との意見交流を行いました。11月には、日本平和大会ブレ企画「台湾の反戦平和勢力と交流する会」が台湾とオンラインで結んで開かれました。

「台湾有事」を起こさせないためにも、沖縄を戦場にさせないためにも、市民的な運動や学習を今年もさらに強めて行きたいとおもいます。

米中間の対立の中で、平和を望む市民のレベルでの友好と連帯の絆をより一層強くするために、今年も努力したいと思えます。

### 新年の抱負をお寄せください

今号は4名の会員さんの新年の抱負を掲載させていただきました。

韓国、シリア、ガザ、等様々な所で、大きな事が起きています。

皆さん、思うところが多々あると存じます。

そうしたところを是非、新年の抱負として意見をお寄せ下さい。

本年も、多くの会員の皆さんの声の溢れる機関紙でありたいと考えています。

これが、編集者の新年の抱負でもあります。



ラオス平和交流の旅①  
**国際平和署名をラオス外務省  
 ASEAN局に提出しました**

粕谷 武志

ラオスに到着してから3日目、私たちは外務省に行き、全国で集めた1万3865筆(個人・団体)の署名を提出しました。この中の1779筆は大阪AALAのみなさんや多くの団体が集めてくれた分です。あらためて感謝いたします。

**建国記念日を花束でお祝い**

私たちを乗せた貸し切りバスが外務省に着いたのは10時少し過ぎでした。署名提出のセレモニーが行われるのは4階にあるあまり広くない部屋のためか、AALAからは5人とカメラマンしか入ることができないとのことでした。

幸いにも私は署名の束を持っていく役として、このセレモニーに参加することができました。厚意に感謝です。

私たち6人は、通された部屋でASEAN局長のチャトロン・ポーシサワットさんと挨拶と名刺交換を行い、その後、通訳の鈴木さんを介しての歓談が始まりました。

最初に前日の12月2日がラオスの建国記念日であることをお祝いして、私たちが花束を送りました。そしてなごんだ雰囲気の中での記念写真となりました。



日本の3分の2ほどの国土に人口7百数十万が住むラオスは、中国、ミャンマー、タイ、カンボジア、ベトナムの5カ国に囲まれた内陸国です。1975年に社会主義のラオス人民民主共和国となりました。



**署名と憲法9条プレート**

しばらく歓談したあと、部屋の中央に外務省ASEAN局長と吉田団長が隣り合って座りました。

外国の首脳どうしの対談のような雰囲気です。

吉田団長が用意した書面を読み上げ、それを通訳である鈴木さんが訳してして伝えました。

AALAが取り組んでいる「東アジアを不戦、平和、協力、繁栄の共同体に」という

思いが語られました。そして1万3865筆の署名提出、その後、憲法9条のプレートも渡されました。緑色の台詞に9の字が大きく書かれたプレートに、これは何かかなというような表情がありました。が、非戦を誓う日本国憲法の条文であることがわかり、私たちの非戦の思いが伝わったのか、さらに友好の雰囲気が高まったと感じました。



**私たちは友好を大事にしています**

この署名について、ASEAN局長のチャトロン・ポーシサワットさんは、「署名のことはしっかりと記憶しておきます」と答えてくれました。また、「ラオスは友人を最も大切にしており、日本との友

好関係も重視している」と、また「人民間の友好と交流を大事にしたい」との意味のことも話されました。

私は、日本は軍事ではなく、経済と平和の共同こそが必要だと伝えてくれていたのでないかと感じました。





ラオス 平和交流の旅  
 (2024.12.1~12.6)  
 (西野卓嗣・西野敏江)

○関西空港からビエンチャンへ「1日目」

ベトナム航空VN327便は、満員の乗客を乗せて、定刻から約1時間遅れの11時過ぎに離陸しましたが、ベトナムのホーチミン市空港では何とか予定のVN920に乗り継ぐことができました。

成田からのメンバーも1時間以上遅れましたが、なんとか間に合い、全員そろってラオスのビエンチャン空港に予定通り19時(日本時間17時)に着陸しました。

ビエンチャン空港では現地のガイドさんと富士国際旅行社の小野寺研一さんを含め、総勢19人が大型の観光バスに乗り込み、先ずは第1日目の夕食を摂るべくビエンチャン市内のラオス料理店を訪れました。なお、ビエンチャンでは

毎回大型バスに全員で乗り込んで一斉に移動しましたが、後程出てくるルアンパバーンでは、3台のミニバンに分乗して移動することになります。

ラオス料理には馴染みのないメンバーが多く、皆さん戸惑いながらも多種類の料理おいしく頂きました。お店で飲む場合は、ラオスビール(アルコール度数5%)が、日本には珍しい大瓶1本で500000キープ(約350円)から、高いお店では1000000キープ(約700円)だそうです。なんだか大金持ちのなつたような錯覚を覚えました。

夕食後は市内の4つ星ホテルのラオ プラザホテルに泊まりました。



○凱旋門「2日目」

ホテルでの朝食あと、バスに乗り込み、先ずはパリ

の凱旋門を模したというビエンチャンの凱旋門に行きました。門の上部と塔を入れてもパリの凱旋門の半分以下の規模だと思われ、ただパリの凱旋門は石造りで、前後にだけ通れるのですが、この凱旋門はコンクリー造りで、上から見れば正方形で前後左右にも通れる構造になっていました。



○仏塔タート・ルアン(黄金の仏塔)

ラオスは昔から金が多く採掘される国として有名で、黄金色の仏像や寺院などが多数建立されています。

またショッピングモールでは、多くの金製品が販売されラオス国民も好んで金製品を身に付けているようです。

そのような国ですからこの巨大な仏塔も全体がキン

ピカなのです。また、この仏塔をぐるりと囲む回廊には、多数の仏像が整然と並んでいますが、よく見ると、全ての仏像の目玉がないではありませんか。



ちよつと愕然としました。ガイドさんの話によると、その昔、タイ人が攻めてきて、貴重なガラスや宝石でできた目玉をくりぬいて持って行ってしまったとのことでした。罰当たりめ!と思いましたが。





○ビエンチャンからルアンパバーンへ鉄道「3日目」

それは「高速鉄道」と言う名の普通の列車で、ビエンチャン駅を予定時刻の3分前の15時52分に、静かに滑り出しました（日本では3分前に出発ということは全くあり得ませんね）。先ず驚いたことはビエンチャン駅の立派なこと。天井が高く、まるで空港のようでした。

ガイドさんから、事前に水とかお酒は手荷物（リュック）に入れてくださいと言われました。

ですから、私は、バゲッジは飛行機に乗るときのように、別に荷物室があるのかなと思っていたのです。

しかし実際は自分で全て車両に持ち込むのですから、結局手持ちのリュックもバゲッジも「手荷物」なのです。ガイドさんの言った意味がわからなくなりました。次に驚いたのは、なんと単線だったことです。

私は日本の新幹線をイメージしていたので、まさか行き違い列車を待つなんて

（駅で同方向に移動する「こだま」が「のぞみ」を待つことはありませんが）。1回が15分程度で2回もです。

しかも駅ではないところで。一カ所はなんとトンネルの中でした。

全く信じられませんでした。車両の内部は日本の新幹線とほぼ同じで、3人掛けと2人掛けでした（グリーン車両があったのかどうかは不明）。

室内では速度が表示され、最高速度は時速160kmでしたから、日本の新幹線の速度には遠く及びませんでした。

あと車両で気付いたことは、日本の新幹線のような電車ではなく、電気機関車で牽引しているのです。

○ルアンパバーン駅からルベル

エア リゾートホテルまで目的地のルアンパバーン駅には、15分遅れの18時20分に到着しました。

もうすでに周りは真っ暗で、駅前にポツポツと立っている寂しそうな街灯が、列車から大量に吐き出された乗客たちをかすかに照ら

し出しておりました。駅の出口から駅前広場までは、右へ左へと折れ曲がる石段を何十段も下がるのですが、バゲッジをもつての移動は大変でした。



その時ふと思ったのは、降りるのにこんなに大変なのに、列車内に、乗るときはどうするのだろうか（帰りは飛行機なので心配はしていませんでしたが）。

ルアンパバーンの街中では、大型の観光バスは勿論マイクロバスの運行も禁じられているとのこと。

我々は3台のトヨタのミニバンに6人ずつ分乗して駅を後にしてホテルに向かいました。

途中のレストランに着くまでの半時間は、昭和の時代の凸凹道をいやでも思い出させられました。

夕食は、メコン川の畔の天井があるだけの開放的なレストランで摂りました。やはりラオス料理がたま

したが品数が多く覚えられませんが、広いメコン川の遠くの面にゆれるいさり火が印象的でした。

この日のホテルは、昨日までの街中の一般的なホテルと打って変わって、多少凹凸のある広い敷地に、南国風の潇洒な木造の建屋が相互に間隔をとって何棟か配置されていました。

また、建物と建物との間にはヤシの木などがゆったりと植えられ、異形のプールやその傍に立つ東屋風のパーでも印象的でした。

○パークウー洞窟「4日目」

この日は一部の人達が早朝5時半集合で、お坊さんの托鉢や朝市見学に行きました。

このホテルの開放的なレストランは、メコン川の支流の畔にあり、ここでは外気に触れ、鳥の声を聴きながらブッフエスタイルの朝食を摂りました。

朝食後、また3台のミニバンに分乗した我々は、先ずメコン川沿いを遡り、1時間程度で上流にある船乗り場に着きました。

そこでは、小さなぶよぶよした浮橋の上を危なっかしい足取りで渡り、先のがった20〜30人乗りと思われる細長い船に乗りました。

先ずは対岸のパークウー洞窟を目指します。



その洞窟は、船着場から10m程度の急な階段を登った所にあり、川に面した断崖をくり抜いたような形状をしています。思ったほど奥深くはなく、内部は上方に向けて凹んでいて、その昔、土着の人々が信仰の対象である大小様々な仏像を奉納したとのことで、今でも多数の仏像が残っていました。





# 万博は一刻も早く中止を

カジノ問題を考える大阪ネットワーク  
藪田ゆきえ

2025年4月13日の関西万博開催を4か月後にひかえ、政府、維新の会は万博の機運盛り上げにさらに予算をつぎ込んでいます。機運醸成のための費用は当初の40億円から約1.7倍の69億円に増額されました。万博の前売り入場券販売は、目標の1400万枚に対し、12月27日時点で約半分の737万枚にとどまっています。

その大半は関西企業の購入分とみられます。

目標のチケット枚数を売り切るためには、開会日までに毎日5万枚が売れなければなりません。万博協会発表の実績を見ると、一週間で1万枚という週もあり、大赤字間違いないし、という恐ろしい状況です。

吉村知事は「赤字になった場合はどこが補填するのか」という質問に「赤字にならないようにする」と答えています（答えじゃない！）。生活が苦しい中、大赤字

必至の万博を強行すること一刻も早く止めることが大事ですが、入場者を増やすために子どもを万博に動員する計画にも、教職員、保護者から不安と怒りの声があがっています。夢洲は大々的に人を集めるにはあまりにも危険だからです。

3月には万博会場予定地でメタンガスが爆発、今も毎日2トンのメタンガスが発生しています。

レストランも出店する場所ですが、万博協会は「火気厳禁で」という条件を出しています（火を使わないレストラン？）。

今年1月に国立感染症研究所などが、夢洲での万博集客に対して、熱中症、食中毒、感染症の危険を指摘しています。

6月、8月には殺人アリと言われるヒアリが1000匹以上発見されています。宣伝していると「今さら中止はできないんちゃう？」

という声もありますが、私たちは「危険なところに人は集められない、今止めたら大赤字が少しでも減らせる」と訴えています。万博直前の来年3月23日（日）には大阪うつぼ公園からならばまで数千人規模のパレードを予定しています（1時集会、1時半出発）。ぜひご参加ください。

パークウー洞窟を後に元の船に乗り、今度は川下に向けてメコン川クルーズです。川幅は、2km位はあるのでしょうか、しかし川の中には所々に岩が顔をのぞかせており、操船はそう簡単ではないように思えました。

1時間ほどで、ほぼ出発地に近い船降り場に到着し、地元の人々が織ったという絹製品が並んだ質素な商店街を抜けて、また元のミニバンに乗って昼食会場へ。ここでの昼食もラオス料理でした。



階段状に並んだ多数の比較的低い滝を横目に小道を登っていくと、最後に高さが100mもあるうかと思われ結構大きな滝が待っていました。なかなか壮麗で神々しく感じました。ただ途中の滝壺は、水盤を下流に向けて徐々にずらして重ねたような形で浅く、特に欧米人と思われる観光客が水着で水浴をしていて、ちよつと驚きました。下流側の多くの滝壺は、上流側から流れ込んだ水が、下流側の縁から流れ落ち、その際に石灰分がその縁に付着して堆積し、水盤のような形となります。これは中国四川省北部にある九寨溝の近く黄竜と似ていますが、黄竜ほど水が澄んでいないために、水盤の縁は白くはありません。なお、黄竜では水浴は許されていません（以下次号で掲載します）

昼食後、またミニバンに分乗した我々は、森林の中にあるクアンシーの滝を目指すこと1時間。我々の乗ったミニバンでは直接滝の傍までには行きません。手前の駐車場で専用車に乗り換えて滝に向かいます。専用車から降りた我々は、





# 『分断に抗う壁画』

大阪AALA常任理事 安井 倫子 著

を読んで 堀内保孝



「街をきれいにしたい」と市民に訴える。

新市長は、就任後すぐに市の整備・美化政策の一環として落書き撲滅を提案し、MAPの前身となる「反落書きネットワーク」を立ち上げる。

1984年「反落書きネットワーク」として発足

2 「反落書きネットワーク」からMAP（ミューラルアーツプログラム）へ

グードは当初、警察や地域組織を動員し、徹底的に取り締まることを考えていたようだが、責任者のスペンサーは、落書き青少年達を取り締まり処罰するのではなく、彼らに意味のある仕事をさせることを市長に進言し予算措置を要求。

助手のゴールデン・ゴードンとして青少年の教育にあたる。

「反落書きネットワーク」は、「園芸の会」と提携し「街並み緑化」計画に参画し

産業が空洞化し荒廃した地域を中心に壁画を作成してゆく。

作業者は元落書きライターの青少年だった。1988年には600枚の壁画を仕上げた。

こうしたプロジェクトを成功させ、壁の提供者、助成金の提供団体も出現。

この街が抱える差別と格差の問題と正面から向き合い、街の人々と生活をテーマに、1980年代から建物に壁画を描き続けてきた壁画制作集団へと発展してゆく。

描いた壁画は市全体で4000枚に達する。多くの深刻な問題を抱える地域住民を励ましていく。

落書きがアートへと変貌し、「アートが変化に火を付ける」ように社会を活性化してゆく。

3 「壁画の世界」のグローバルな広がり

1984年の反落書きネットワークとして発足から2017年までにMAPが手掛けた壁画が、フィラデルフィアで生きる人々を上げましてきたことは、間違いないと確信した著者の壁画探しの旅が始まる。

その旅は、ロサンジェルズ、シカゴ、メルボルン、ソウルへと広がってゆきます。

はじめに

この本の魅力は様々にあります。ここではフィラデルフィアの壁画運動を中心にこの本の魅力を伝えたいと思います。

きつと、実際に壁画を観に行ってみよう。と皆さんを壁画の旅に誘ってくれる本です。

1. 「壁画の街フィラデルフィア」はどのようにして生まれたか。

この本は、2017年アメリカ、ペンシルバニア州フィラデルフィア市ケンジ



フィラデルフィア

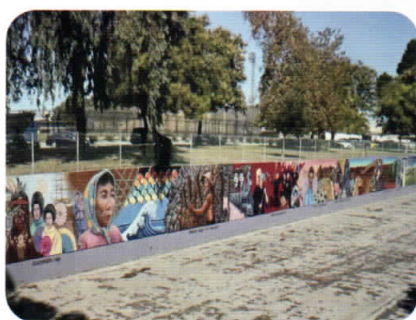
この世の中では一人ひとりの命が粗末に扱われ、分断がまかり通っています。私達の命はかけがえがないと告げています。人々の魂に尊厳をもたせることが私達の仕事です」

（責任者ジェーン・ゴードンの挨拶）

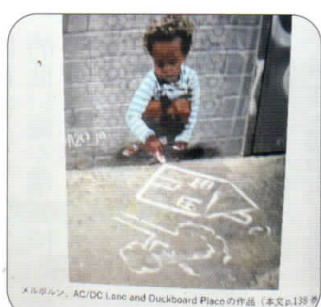
1984年市民運動にも支えられ黒人市長が誕生。ウィルソングード市長一



フィラデルフィア



ロサンジェルズ



メルボルン





福島双葉町

4日本にも広がる壁画の世界  
壁画が、地域住民を励まし、地域を元気にするという現象は日本にも少しずつですが広がって来ています。  
ここでは、福島双葉町と



ソウル



相馬

大阪西成にある壁画を紹介して終わりとはします。是非機会があれば、皆さんで足を運んで見に行ってください  
5 最後に  
この本は安井先生の2冊目の本です。



西成

1冊目は、「語られなかったアメリカ市民権運動史—アファーマティブ・アクションという切り札で—」という本です。その延長に、この本があります。しかし、あまり難しく考えずに、壁画運動がどのような社会との関わりをもつのかなとぼんやりかんがえながら、壁画を楽しむという読み方もまたあってもいいのかなとおもいます。  
歴史に関心のある人、アートに関心のある人、そして差別に抗うことを是とする人びとに読んで欲しいと思います。



自伝『マリヤの賛歌』を残した、もと日本軍慰安婦の城田すず子さんの



海南市長、海南の市議さんも参加されていました。  
主催・和歌山で「マリヤの賛歌—石の叫び」を上演する会（マリヤの会）のみなさんご苦労さまでした。  
(堀内記)

## マリヤの賛歌

金子順子一人芝居

和歌の浦アート・キューブ

、12月7日。

米沢先生のお勧めにより、西野。小松、堀内で、和歌山に、前号でお知らせした「マリヤの賛歌」を観劇に行つて来ました。

言葉は、泥沼の深淵から立ち返る人間の尊い魂に貫かれ、声をあげるとはとういうこと何かを全身全霊でおしえてくれます。

チケットは220枚販売され、静かな内にも、皆さん真剣に舞台を見つめ、金子さんの迫力のある演技に魅了されていました。

役者「金子順子」さんの素晴らしい一人芝居により、会場の一人一人が、城田さんの言葉に触れる時間が静かに流れたひと時でした。



# 大阪初の「9条の碑」建立

大阪AALA副理事長 上村得世



「よう会」を診療所の職員や診療所健康友の会の役員などが中心になり他団体にも声をかけ建設運動が始まりました。

多くの人に募金を呼び掛ける中では、憲法学習会や映画上映などの企画も実施しました。

24年1月には「松本ヒロさん」のライブ。

4月には3階建ての新しい診療所がオープンし、この建物で5月には映画「荒野に希望の灯をともし」（医師、中村哲の生き様を追うドキュメンタリー）上映に取り組みました。

大阪母親大会でも協力依頼の訴えもしました。

除幕式には200人以上の人が参加。

オープニングはお祝に駆け付けた市内のうたごえサークルの仲間40人がベートーベンの交響曲「第九」のメロディにのせて「第九で9条」を合唱。

11月24日（日）、大阪で初めての「9条の碑」の除幕式が茨木市の茨木診療所、玄関前の敷地で開かれました。



主催者を代表して挨拶された安達克郎所長（大阪AALA代表委員）はノーベル平和賞の受賞にも触れ、「地道な活動が平和の維持に大きな役割を果たしている。この9条の碑の建立を機に、さらに運動を推し進めたい」と語られました。

お祝いに来られた長瀬文雄さん（淀川勤労者厚生協会理事長補佐・元AALA会員）は「日本国憲法に導かれた民医連が地域住民と共に9条の碑を建立したことは大きな意義がある。大阪でも各地に9条の碑を作るきっかけになってほしい」と話されました。

茨木市民を代表して若槻勇一さんは「10月の総選挙で改憲派は衆議院で憲法改正に必要な議席に届か

かった。私たちは憲法を守り、9条守ろうの声をさらに広げよう」と呼びかけました。

伊藤千尋さん（国際ジャーナリストで、9条の会世話人）はお祝いの挨拶の後、「9条を生んだ大阪で初の9条の碑建立」と題して記念講演を実施。

伊藤さんは門真市出身の幣原喜重郎が、アジア・太平洋戦争後の首相として、憲法9条を考えてG7のリーダーに進言したことが資料をもとに明らかにしたことを紹介。（9条はアメリカが作ったのではない）。

9条の碑が日本国内で初めてできたのは1985年、沖縄県那覇市。（現在沖縄には6か所建立）

その他に広島市に、原爆詩人・栗原貞子さんの墓の隣に一人娘の真理子さんが建てた碑なども紹介。昨年までは年間2〜3か所の建立だったのが今年は13件に急増。大阪でも八尾市などで計画が進んでいることを紹介された。

「なぜ9条の碑を建てるのか」の問いには「改憲の動きに市民の意思を示し、9条を目に見える形にしようです」と伊藤さんは強調。


インド産の黒御影石で作られた大阪初の9条の碑が書物をかたどっていることに触れ、「戦争がないだけでは平和とは言えない」。

「命・人権・文化という価値」を込められた碑であることも重要だ」と言われ





**「不戦、平和、協力、繁栄の共同体」をつくろう！**

<p>〒556-0021 大阪府浪速区幸町二、二、二〇 清光ビル4F403 ☎ 〇六、六五六八、七七三一 FAX 〇六、六五六八、〇五六四</p> <p><b>大阪府歯科保険医協会</b> 理事長 小澤 力</p>	<p>〒556-0021 大阪府浪速区幸町二、二、二〇 清光ビル4F ☎ 〇六、六五六八、七七三一 FAX 〇六、六五六八、二三八九</p> <p><b>大阪府保険医協会</b> 理事長 宇都宮 健弘</p>	<p>〒530-0034 大阪府北区錦町二番二号 国労大阪会館一階 ☎ 〇六、六三三三、六四二一 FAX 〇六、六三三三、六四二〇</p> <p><b>全大阪労働組合総連合</b> (大阪労連) 議長 福岡 泰治</p>	<p>〒536-0014 大阪府城東区鳴野西二、五、二二 大阪農民会館一階 ☎ 〇六、六九六五、二九〇〇</p> <p><b>農民組合大阪府連合会</b> 会長 田中 豊</p>	<p>〒530-0012 大阪府北区芝田二、三、一九 東洋ビル本館207号室 ☎ 〇六、六三三三、一八一三</p> <p><b>日本中国友好協会大阪府連合会</b> 会長 山本 恒人 理事長 松尾 豊</p>
<p>〒596-0053 ☎ 〇七二、四三八、七七三四 FAX 〇七二、四三八、三六四四</p> <p><b>阪南合同法律事務所</b> 岸和田市沼町一三番二号 弁護士法人</p>	<p>〒541-0054 大阪府中央区南本町二、一、八 創建本町ビル二階 ☎ 〇六、六二六八、三九七〇 FAX 〇六、六二六八、三九七七</p> <p><b>大阪民主医療機関連合会</b> 会長 大島 民旗</p>	<p>〒543-0021 大阪府天王寺区東高津町七、一一 大阪府教育会館七〇七号 ☎ 〇六、六七六八、二二〇六</p> <p><b>大阪府立高等学校教職員組合</b> 執行委員長 志摩 毅</p>	<p>〒543-0021 大阪府天王寺区東高津町七、一一 大阪府教育会館七〇六号 ☎ 〇六、六七六八、二三三〇</p> <p><b>大阪教職員組合</b> 中央執行委員長 北川美千代</p>	<p>〒543-0021 大阪府天王寺区東高津町七、一一 大阪府教育会館七〇三号 ☎ 〇六、六七六八、八九四六 FAX 〇六、六七六八、八九四七</p> <p><b>大阪母親大会連絡会</b> 委員長 松永 律</p>
<p>〒556-0014 大阪府浪速区大国町一、八、一十六 ☎ 〇六、六六四一、六〇六〇 FAX 〇六、六六四一、六〇六一</p> <p><b>なにわぐりーん法律事務所</b> 弁護士 渡辺 和恵</p>	<p>〒534-0025 大阪府都島区片町 二、二、四八 JR京橋駅NKビル十一階 ☎ 〇六、六三五六、一五九一 FAX 〇六、六三五一、五四二九</p> <p><b>京橋共同法律事務所</b></p>	<p>〒540-0033 大阪府中央区石町一、一、七 永田ビル四階 ☎ 〇六、六九四二、七八六〇(代表) FAX 〇六、六九四二、七八六五</p> <p><b>大阪中央法律事務所</b></p>	<p>〒556-0011 大阪府浪速区難波中一、一〇、四 南海SK難波ビル五階 ☎ 〇六、六六三三、七六二一 FAX 〇六、六六三三、〇四九四 ホームページあります</p> <p><b>きづがわ共同法律事務所</b></p>	<p>〒530-0054 大阪府北区南森町一丁目二、二五 南森町iSビル七階 ☎ 〇六、六三六一、八六二四 FAX 〇六、六三六一、二一四五</p> <p><b>民主法律協会</b> 会長 豊川 義明</p>
<p><b>旅のことなら</b> <b>JU 観光</b> 〒530-0041 大阪府北区天神橋 1-18-27 天神ビル4階 TEL : 06-6135-7111 FAX : 06-6135-7311 <a href="https://www.ju-kanko.com">https://www.ju-kanko.com</a></p>	 <p>ASEAN LAO PDR 2024 57TH ASEAN FOREIGN MINISTERS' MEETING AND RELATED MEETING 21-27 JULY 2024, VIENTIANE, LAO PDR</p>		<p>〒650-0001 神戸市中央区加納町 ☎ 〇七八、五九九、五四四五</p> <p><b>西野特許事務所</b> 所長 西野 卓嗣</p>	



## 大阪AALA 新春のつどい

日時 2025年 1月19日(日) 13時~16時  
 会場 えきちか森ノ宮  
 費用 2000円  
 内容 理事長挨拶  
 アトラクション バンドGOM(ピアノ、ウクレレ、歌)  
 ラオス報告 西野敏江・卓嗣、粕谷武志  
 ベトナム平和ツアーの概要説明  
 今年の抱負 会員のみなさん

## 文芸欄 川柳

戒嚴令のあやうい橋を押しとどめ  
 祖父の名で横綱ねらう琴櫻  
 新しい政治に代わる今チャンス  
 大阪市旭区 近藤 正

被爆者の平和の思いノーベルへ  
 裏金も武器爆買いも亡国の途  
 寒々と 赤字積み上げ 夢の洲  
 大阪市中央区 大杉 晃

## 鈴木勝比古さんからの参加者への伝言

ベトナムを理解するためにできれば次の2冊を読んでおいてください。

- ① 「海のホーチミン・ルート」 光陽出版
  - ② 「中部高原の友人たち」 メコン出版
- 著者 グエン・ゴック、訳者 鈴木勝比古

## 英語で世界を読む会 1月例会

1月は7日(火)2:00に、AALA事務所で行います。  
 テキストは Amazon workers in 20 countries to protest or strike on Black Friday です  
 連絡下されば、テキストを送ります奮ってご参加ください。  
 安井 (pichan5@hotmail.com)  
 または0797-85-9151)

## < 大阪AALAニュース原稿募集 >

- ツアー報告 ○ 政治や社会世界の動き、等  
 文字数2000字程度、写真6~7枚程度添付でお願いします
- 文芸欄 紙面の都合上「俳句」「川柳」「短歌」で1人3句

◎ 編集の都合上  
 締め切りはその月の13日着でお願いします

大阪AALA  
 へのお誘い

会費 月 800円(年 9,600円) (25才以下は年3,000円) \*入会金 500円  
 \*会費の会計年度は毎年4月から翌年の3月です。半期毎に4,800円づつご入金お願いします  
 \*会費の中に機関紙代も含まれています。月初めに大阪AALAと日本AALAの機関紙を郵送します



Osaka

発行

大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 (大阪AALA)  
 Osaka Asia Afrika Latin America Solidarity Committee  
 〒540-0004 大阪府大阪市中央区玉造1-6-11 黒石ビル3F  
 TEL 06-6768-5360 FAX 06-6768-5361  
 E-mail osakaaala@nifty.com HP:http://osakaaala.la.coocan.jp

